



Subaru

男声合唱団

ニュース№568

‘16. 8. 4

「わしらの朝は海からはじまる」に寄せて 一団員からの熱心なレッスンへの思い！

1

□8月21日(日)「市内南部合唱発表会」、9月18日(日)「大阪のうたごえ合唱発表会」そして11月の「日本のうたごえ in 愛媛」での「合唱発表会」に向けて、合発曲「わしらの朝は海からはじまる」と「白樺」は最終のレッスン段階(暗譜)に入ってきました。熱心なバリトンパートのメンバーの一人から、「わしらの朝は海からはじまる」について、BRの最初の漁師のかけ声「イヨ-シドオットオ」(単調ながら音程の不規則な並び)をどう覚えて歌うのか?について、熱心な思いが伝わるメールが「一口メモ」を添えて送られてきました。

伊藤技術部長から、そのQuestionに対して、分かり易いAnsewが返ってきています。

そのやり取りも参考になると思いますので、ご本人達の了解を得て、「昂ニュース」特別号の形で載せました。

(1) 2016年7月31日

昂・各位さま

いつも御世話になっています。今夜は特に蒸し暑いですね。

先日7/29のレッスン末廣亜矢子レッスンに参加して、感じた事・思ったことを、私なりに書いてみました。

最初の「イヨッシドット」aa ab/ ab aa'/

aa ba/ ab aa'/

aa ba'/ b'c a'a/

ba' +ヨオ一 は暗記するしか無いですかね?

16.7.31 Br 山本

男声合唱団「昂」2016年合唱発表曲(バリトン用) (7/29末廣亜矢子教室を受講して)

<わしらの朝は海からはじまる(浪速の漁師のオッサンになりきる)>

(f) 力強く、T1T2船頭のメロディーを聞きながら、手漕船で櫓を漕ぎ波を乗切る様。飽きずにしっかりと。)
(p)

イヨーッシドット《aaab abaa' aaba abaa' aaba' b'ca'a ba'》ヨ!

(f) Wa わしらノ海がある一

(mp) wu-> wu-> wu-> wu-> wu-> wu-> (捨てる!)

(状況一変して明るく)

(f) わしらノ朝は一 太陽一いよりモ(切る)先に一 は・じ・ま・る一う(切る)

(f) お・お一 いゆくぞ一わしらノ U海エ一 お・お一 いゆくぞ一 わしらノ U海エ一

(mp br・solo 前へ) Si 潮風を一 ki 切っていゆけば一
(f) わしらノ朝は一 U海から始まる一 わしらノ U海は一 A朝から始まる一
(mp br・solo 前へ) Hi 引き上げる U魚は、海から A 揚がる U魚は、どれも Ha 弾ける
I 活きのいいやつ一
(mf) Fu 船の He 舵先は一 沖へ一 沖へ
(f) お・お一 いゆくぞ一 わしらノ仕事場— U魚ノ湧く U海へ一 年がら年中—
わしらノ朝は一 太陽—いよりモ (切る) 先に一は・じ・ま・る一う (切る)

(mf) Fu 深い海— Fu 深い海ノ底から Uwo 魚ノ湧く U海ノ底から一あ
(f) わしらノ A 朝は 始まる一！ お・オ一！

＜白 権＞

一、(ゆっくりねつとり)
(mp) 乙女の髪に Fu 触れ一 その眼 Za 差し追い一
Iyo 夜もすがら Za ざわめく一 (続けて) 葉擦れの U 歌聴く一
(f) 白権一 (mp 気持強く)白権— 何を Wa 我に Tu 告げる一
二、(さらり) 白権の U 歌は一 かの Ha 春の歌か一
忘れぬ戦いの一 (続けて) 厳し思い出の U 歌か一
(f) 白権一 (mp 気持強く)白権— 何を Wa 我に Tu 告げる一
四、(やさしく) モスクワ郊外の白権一 夜もすがら目覚め一
パリのマロニエ眠らず一 (続けて) 葉擦れの歌聴く一
(f) 白権一 (mp 気持強く)白権— 何を Wa 我に Tu 告げる一

(2) 技術部長からのメール

(CC: 本並先生、三村様へ 山本力さん作ファイルを添付しています。)

山本様

うまくまとめてもらいありがとうございます。
子音や母音頭をしっかりと発語すべき部分がよくわかりますね。
亜矢子レッスンに来れなかった団員にも理解してもらうために、印刷して配布、
若しくは、ニュースに掲載してもらってはどうかなと思います。
「イヨーッシドット」と書かれているところは、ヨの後を伸ばして、「イヨーッシドット」と
してもらった方が付点 8 分の「ヨ」と 16 分の「シ」の長さの違いをより意識できると思います。

バス・バリトンの「イヨーッシドット」は、音程が変化しない部分を基本にして、
その部分の音程レベルをきちんと維持すること、そして、音程が変わる音符は、上下とも
それぞれに、しっかりと音高をピタッと届かせる、この両方が必要ですね。

手漕ぎ船に立って櫂をこぎながら、海の波に揺られている状態をイメージしてはどうでしょうか？
船を持ち上げる波を乗り切っていくとき、船の高さが変化していきます。
その様子をイメージしながら、波の高みに乗り上げていく一瞬や、波の底へ沈む一瞬に応じて、
音程が変わっていく。平穏な波、高い波、それほど高くない波、深く沈み込む波の底、
押し寄せる波のスピードも一定ではありません。ゆっくりと動く波、急変する波、小さく動く波、
波の高さ(低さ)や速さは刻々と変化していきます。

T1・T2 の船頭が歌うメロディーを聞きながら、船頭達を乗せている船になった気持ちで、
船頭達を下から見上げている 波に揺れ動く船体が、BS・BR パートだと。

「イヨーッシドット」のリズムパターンは全部同じですが、単純なリズムの繰り返しではなく、
音程が変化する音符の長さは、微妙に変化してもよい。ブレスの一瞬は、海の波に揺れ動く
船体になったつもりで、波の動きに合わせて体も動き、その動きを「イヨーッシドット」と歌うと思えば、
自然なブレスができてしまうのではないか、と思います。

亜矢子先生は、「P 飽きずにしっかりと」歌うようにと注文されましたが、上記したような
何か具体的なイメージをもって、「イヨーッシドット」を歌うようにすれば、飽きることはないと思
っています。
パターンの変化は、何度も歌い聞き、T1・T2 のメロディーを聴くのと一緒に覚えてしまうしかない
のではないかと思います。／伊藤

(3) 山本さんからの返事

「昂・伊藤さん、広報部三村さん、吉川さん、本並先生、各位さま
いつも御世話になっています。昂バリトン山本です。
きょうも暑いですね。

伊藤さん。御指導ありがとうございます。

「イヨーッシドット」表現と、その覚え方、特に「①手漕ぎ船で櫂を漕ぎながら波を乗切る様。
②船頭 (T1・T2) のメロディーを聞きながら。」は非常に分かりやすいです。

丸暗記しかないか？と思っていましたので、今後のレッスンにおおいに参考になります。ありがとうございました。

伊藤さんに指摘されたところを私なりに修正（添付資料）しましたが、今後、仮に印刷物など配布されるのでしたらまだまだ表現や記載方法など不十分だと思っています。（注：1 頁目の資料は「修正」分です。編集子）

お気づきの事がありましたら、変更・修正したいと思いますので、指導してくださるよう、よろしくお願ひします。

16.8.2 Br・山本 力